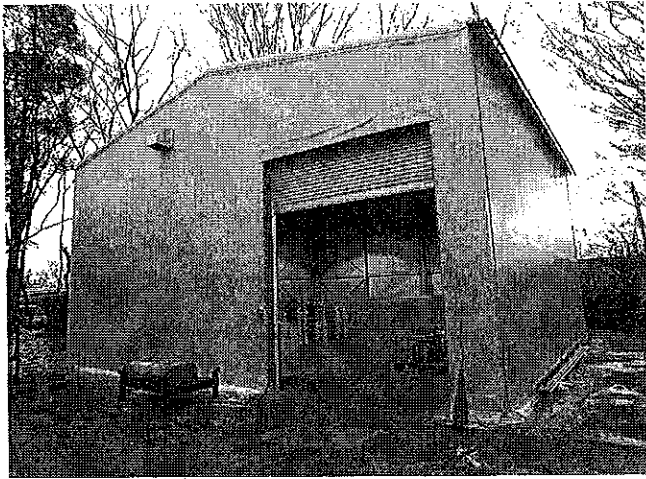


平成24年(2012年)2月3日 (金曜日)

(第三種郵便物認可)



検査用薬品の処理棟建設

大和合金、環境対応を強化

銅合金鑄造・鍛造メ
 ーカ―の大和合金(本
 社・東京都板橋区、社
 長・萩野茂雄氏)は生
 産部門の三芳合金(埼
 玉県三芳町)で浸透探
 傷検査の薬品処理棟
 写真↓を建設し来月中
 旬をめどに稼働させ
 る。品質に気を使う製
 品が増えており検査が
 多くなる中、環境対応
 を強化する。建屋面積
 は100平方メートル。投
 資額は約1千万円。

浸透探傷検査は、材
 料表面に赤色の染色液

を塗布し拭き取った後
 に、微細な粉末を吹き
 付ける手法。傷があれ

ば浸み込んだ検査薬が
 表面に広がり、目視で
 発見できる。
 建屋は約800万円
 で昨年12月に建設。マ
 ツケンの排水処理装
 置、ノンオイルミニ2
 00型を約150万円
 で導入した。染色液の
 処理設備は、薬剤を入
 れて成分を分離して濃
 過・回収するもの。装
 置では1回に200リ

の浄化が可能。現在は
 処理場に搬入し掘付の
 準備を進めている。